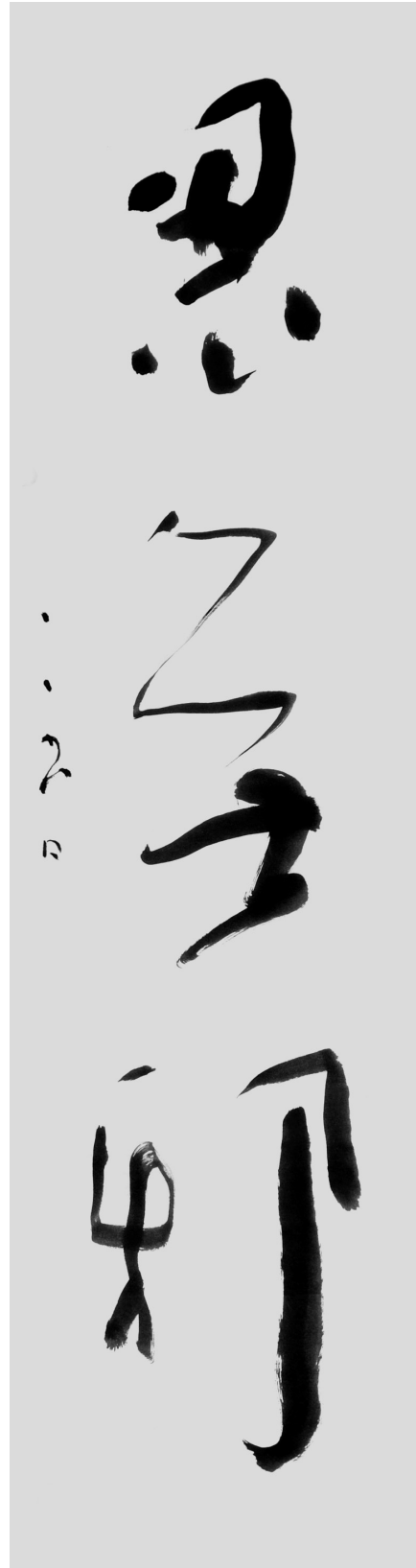


4月25日正午必着

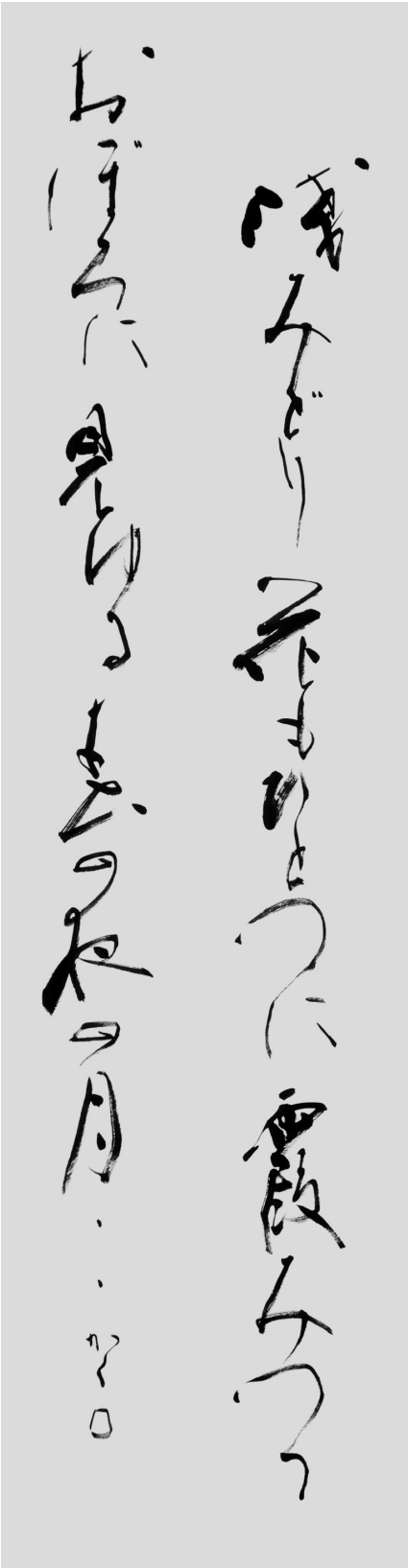
明石春浦先生書



おもいさまなし
思無邪

自分の思っていることを、ありのままにうちあけて、いつわり飾ることがない。なお無邪気の語もここから出ている。

明石幸子書



浅みどり花もひとつに霞みつつおぼろに見ゆる春の夜の月すがわらのたかすえのむすめ (菅原孝標女)

4月25日正午必着

行く春の嵐ぞあそぶ 若葉垣しきりに花のこぼるる夕へ
（太田 水穂）

今日巖前坐 坐久烟雲收
一道清谿冷 千尋碧嶂頭
白雲朝影靜 明月夜光浮
身上無塵垢 心中那更憂

（寒山）

寒山

今日巖前に坐すれば 坐すること久しくして烟雲収まる

一道清谿冷やかに 千尋碧嶂の頭

白雲朝影靜かに 明月夜光浮ぶ

身上塵垢無し 心中那ぞ更に憂えん

芳春傷客心（陸機）
悲與親友別上 氣結不能言
贈子以自愛 道遠會見難

（古詩・無名氏）

親友と別るるを悲しみ 氣結ばれて言う能わず
子に贈るに自愛を以てす 道遠くして會見難し

親友との別れは悲しく、気もふさいでもの云うこともできない。ただお体を大切にの言葉を贈る。ゆく道は遠く、いつ会えるかもむづかしい。

花の春こそ旅人の心は傷むものである。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

芳春客心を傷ましむ。



春はたまたま客のある日の酒がある（種田山頭火）

雨宮春聲先生書

半紙部規定課題A

4月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

4月25日正午必着

行書

一去春
山裏

隸書

一去春
山裏

明石春浦先生書

草書

一去春
山裏

行草書

一去春
山裏

徳高き上人、本来の姓は竺といひ 菩薩のごときお方、もとの名は林といひ
 いったん春山の中に行っておしまいなれば 数知れぬ峰々の奥、お尋ねすることもできません
 新たなる年に、春のかぐわしい草があたりいちめんに茂り 一日じゅう、白い雲は深くとざしこめる
 ささやかな官職にこの身を捧げて行こうとしておりますが この凡俗の心を奇妙に思っておられることが、ここからでも
 わかります

寄「靈一上人」

劉長卿

高僧本姓竺

開士舊名林

一去春山裏

千峯不可尋

新年芳草遍

終日白雲深

欲徇微官去

懸知訝此心

靈一上人に寄す

劉長卿

高僧 本姓は竺

開士 旧名は林

一たび春山の裏に去り

千峯 尋ね可からず

新年 芳草遍く

終日 白雲深し

微官に徇って去らんと欲す

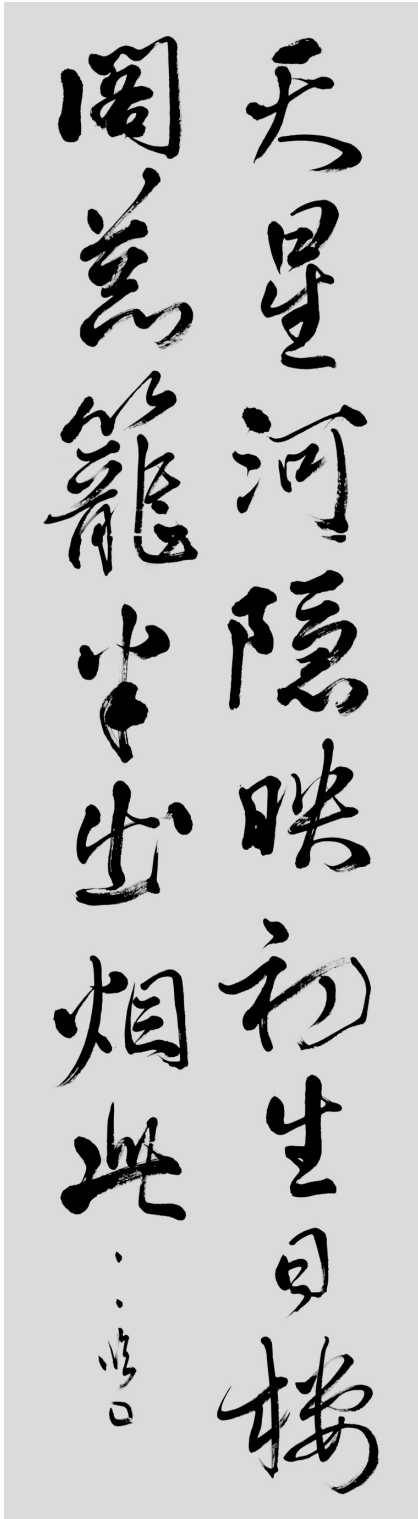
懸かに知る 此の心を訝るを

(出典)

朝日新聞社刊
 「三体詩」下より

上陽宮裏曉鐘後
天津橋頭殘月前
空闊境疑非下界
飄緜身似在寥天
星河隱映初生日
樓閣窓籠半出烟
此處相
閣窓籠半出烟
此處相

上陽宮裏、曉鐘の後、天津橋頭、残月の前。空闊くして境は下界にあらざるかと疑われ、飄緜として身は寥天に在るに似たり。星河隱映して初めて日を生じ、樓閣窓籠として半ば烟を出す。此の処に相（逢いて一酌を傾け）



(飄飄として身は寥) 天に(在るに似たり) 星河隱映して初めて日を生じ、樓閣慈籠として半ば烟を出す。此の(処に…)



(星河隱) 映して初めて日を生じ、樓閣慈籠として…

平安 藤原行成・白樂天詩卷

平安時代は、貴族の文化であり、従来の唐風文化から離れて国風文化へと移行していった時代でもあった。書の世界でも「三筆」の時代から「三蹟」(小野道風、藤原佐理、藤原行成)の時代へと唐風の書が優美典雅な和様書道へと変化していった。

藤原行成の父は一条摂政原伊尹の子義孝、母は醍醐源氏・中納言源保光女、生まれてすぐ伊尹の養子となるが、伊尹がその年に没し、父の義孝も行成三歳の時に没、以後は母と外祖父保光に育てられる。若い頃はかなり不遇で、出家も考えるほどだった。源俊賢が藏人頭の後任に推挙してくれたことにより運が開け、出世するようになる。

書においては、優れた「手書き」で、世尊寺流の開祖として特別に尊重され、行成の書跡は「権跡」と呼ばれるようになる。

この白樂天詩卷は、中国・唐時代中期の詩人、白居易(白樂天 七七二〜八四六)の詩文集『白氏文集』から四篇の詩を揮毫したもので、百八十二行より成る。紙枚は十一紙、毎行十三、四字を前後する程度で、文字の大小も甚だしい変化を示していない。しかし、その一字一時のすがたはさすがに優雅端麗をつくし、平安時代の典型的な筆蹟となすべきものである。

(春籠)

4月25日正午必着

教育部毛筆



しゅん
春

だん
暖

中学一年

雨宮春暖先生書



ずい
随

ひつ
筆

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



に
わ
庭

い
し
石

小学五年

榎戸春龍先生書



は
つ
発

が
芽

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

4月25日正午必着



すい

でん

小学三年

藤田幸春先生書



や

び

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

い ろ 小学一年・幼年



森戸春濤書

お がわ 川 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

4月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

風かおる緑の山で
さえずる小鳥たち

小学五年

山の高さは海面を
基準として表す

小学六年

山にぶつかり降る雨は
水々しい風景を作る

中学

理想ばかりを追う者は
足元にも気をつけよ

一般(級位)

みどりの高嶺の桜散りに
けり巻も白雲のあけぼの

みどりの 高嶺の桜散りにけり 嵐も白き 春のあけぼの (後鳥羽院)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

| | |
|---|---|
| い | つ |
| け | く |
| | し |
| た | |
| け | た |
| の | こ |
| こ | |

幼年

| | |
|---|----------------|
| こ | ね |
| と | こ |
| り | が |
| が | |
| | ー |
| ニ | び ^ひ |
| わ | き |

小学一年

| | |
|---|---|
| め | 小 |
| だ | 川 |
| か | を |
| の | |
| お | お |
| や | よ |
| こ | ぐ |

小学二年

| | |
|---|---|
| す | 林 |
| を | の |
| 見 | 中 |
| つ | で |
| け | と |
| た | り |
| | の |

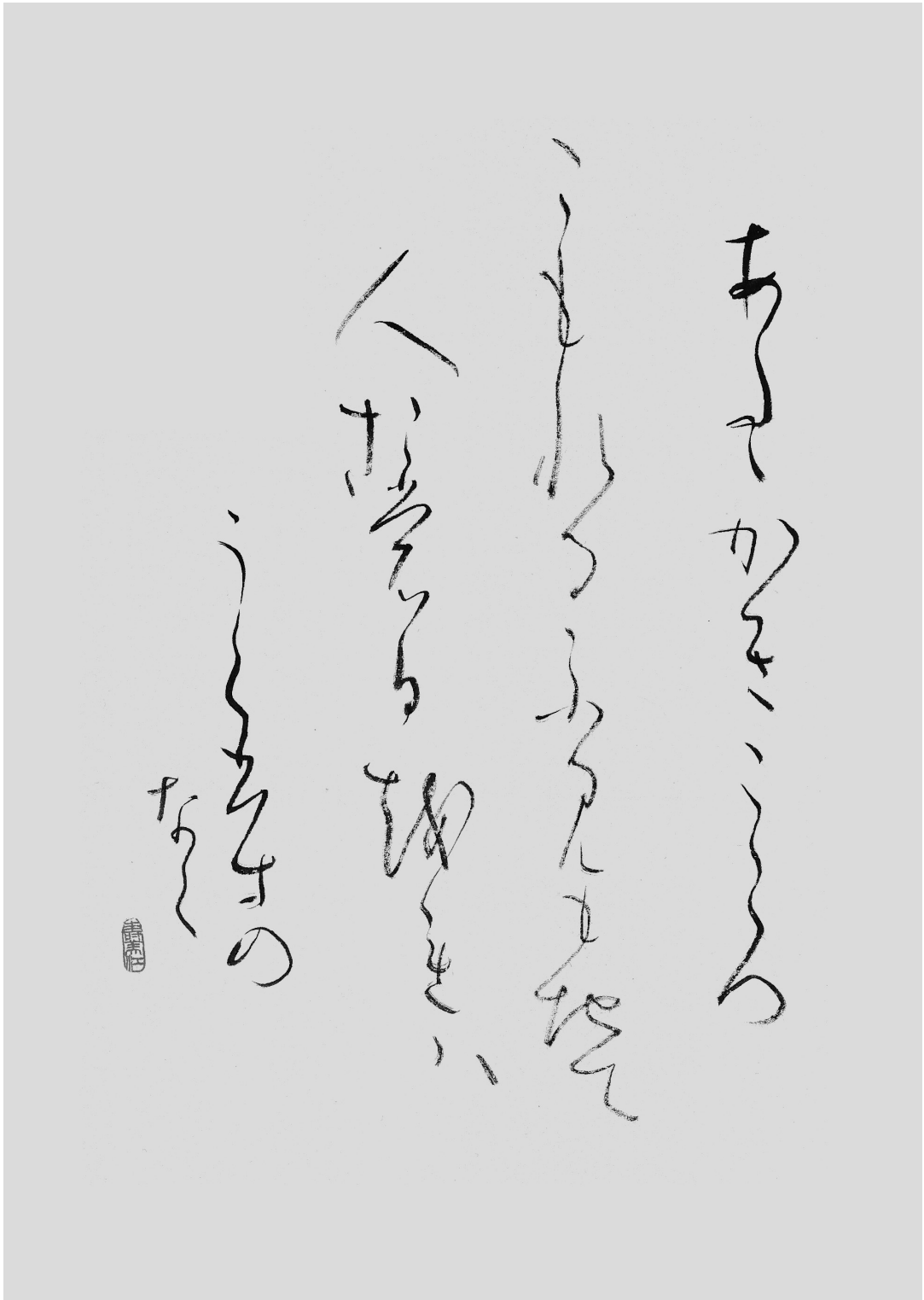
小学三年

| | |
|---|---|
| を | 目 |
| 虫 | の |
| と | さ |
| ま | っ |
| ち | か |
| が | く |
| え | で |
| た | 小 |
| | 石 |

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

多
 あたゝかきこゝろこもれる
 見
 地
 ふみもちて
 於
 袋
 日
 越
 連
 八
 うぐひすのなく
 悲寸
 (伊藤左千夫)